

| | 目的・目標 | 内 容 | 単 位 (時間) | 方 法 | 進 度 |
|---------|---|--|-------------|---|----------|
| 母性看護学実習 | <p><目的> 周産期における看護の実践活動を通し、妊娠・分娩・産褥期にある母子と家族への適切な支援ができるよう基本的な実践能力を養う。また、女性のライフステージにおける健康問題について、生殖および性から保健活動ができる基礎能力を養う。</p> <p>I. 母性各期の特徴を理解し、必要な看護技術を習得する。</p> <p>II. 周産期（主に褥婦・新生児）の正常経過を理解し、個々に応じた適切な看護・保健指導を行うことができる。</p> <p>III. 新生児の生理的特徴を理解し、胎外生活への適応に必要な看護技術を習得する。</p> <p>IV. 周産期にある対象および新生児の異常の予防、早期発見、治療について理解できる。</p> <p>V. 受け持ち事例を通して母子と家族への支援継続の重要性を理解できる。</p> | <p>1. 妊婦の健康診査について理解し、援助できる。</p> <p>2. 女性特有の疾患について学習し、対象の情報からアセスメントすることができる。</p> <p>3. 妊婦・産婦・褥婦をウェルネスの視点でアセスメントし看護が実施できる。</p> <p>4. 妊婦・産婦・褥婦への保健指導ができる。</p> <p>5. 正常新生児の観察と看護ができる。</p> <p>6. 妊婦・産婦・褥婦および新生児の救急処置・治療について学習する。</p> <p>7. 母子看護の継続性の必要性について理解することができる。</p> <p>8. 対象の家族の変化を理解することができる。</p> | 2 90 | <p>【臨地】 場所：星総合病院</p> <p>期間：10日間 形態：1G：6～7名</p> <p>【学内】 場所：ポラリス保健看護学院 期間：2日間 形態：①オリエンテーション ②技術演習</p> | 4年次前期～後期 |